

基本理念
 社員で考え社員のための労働運動を目指す、企業内労働組合
 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す
第 1 号

JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン



J R 連 合

ジェイアール・イーストユニオン
 発行者 菅野 一位
 編集者 教 宣 部
 (中央本部仮事務所)
 〒110-0016
 東京都台東区台東 4-5-12
 ツバサ part15 御徒町 421

ジェイアール・イーストユニオン結成!

スッキリした気持ちで最後のスタート

必ずゴールするための積極果敢な実践を!

ジェイアール労働組合（J労）との余りにも拙速で強引な組織統一に、JR東日本ユニオン（東ユニオン）執行部の組織運営に疑念を抱いた有志が集まり、5月10日、東京都三田の電力総連ビルで新労組『ジェイアール・イーストユニオン』を結成した。

挨拶に立った菅野結成準備委員長は、①J労との統一問題で、東ユニオンが私たちの目指す民主化運動から大きく乖離してしまっただけでなく、②民主化闘争で頑張った佐藤さん、吉田さん、栗原さんたちが私たちの運動に賛同し

菅野結成準備委員長挨拶



新組合結成にあたり、準備委員長を仰せつかりました、仙台の菅野です。ジェイアール・イーストユニオンの結成にあたり、準備委員会を代表してご挨拶を申し上げます。

JR東日本ユニオンとJR労組の統一問題騒動は、昨年12月16日に開催された統一大会を機に、JR連合をも巻き込み、JR労働組合運動を大きく左右する事象に発展しました。組織統一するにあたっては、とても民主的組織運営とは言えず、言葉ばかりの民主主義を並べ、私たちがJR東日本の中で目指した民主化運動とは大きく乖離してしまい、自らの組織を民主化しなければならなくなりまし

ちに与えられた責務である、と述べ、結成の意義を強く訴えた。続いて準備委員会から結成趣意書が読み上げられ、綱領および基本理念が提起された。参加者からの意見集約の後、代表による決意表明がなされ、満場の拍手によって新組合『ジェイアール・イーストユニオン』の結成が承認された。

JR東日本の中に、JR連合の旗を残すための大義としていた統一理由は、JR連合からのJR労組組合員の加入拒否で、脆くも崩れ去りました。統一したJR東日本労働組合では、JR連合での労働運動に「NO」を突きつけられ

また、これまで運動の主導的牽引をしてきた民主化闘争では、主役的な佐藤久雄さん、吉田光晴さん、栗原さん、そして在職助役としてJR東日本の中で初めて加入していただいた菅谷司さんとの4人全てが統一には反対であるとし、我々とともに更なる東日本内での民主化運動に賛同していくと表明し、JR東日本ユニオンを脱退しました。

渡辺委員長の残された統一の大義は、今盛んに話し合っているJR労組組合員の革マル問題は人権

綱 領

- 1 私たちは、自由にして民主的な労働運動を基調として運動を進めます。
- 2 私たちは、組合員の基本的権利を守り、経済的・社会的地位の向上に努めます。
- 3 私たちは、鉄道産業の持つ公共性・重要性・社会的責任を認識し、JR東日本の健全な発展のために努力します。
- 4 私たちは、個人の尊厳を守り、社会正義を追求し、自由・平等・公正で平和な社会の実現を目指します。
- 5 私たちは、理念を同じくする国内外の労働者と連帯し、国際社会の平和の実現に貢献します。

基本理念

- 1 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
- 2 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

問題である」とし、JR労組との人権闘争しなくなりまし。JR東日本ユニオンは、このために強硬な組織運営で統一を進めたのか、それとも中央の役員に何らかの働きかけがあったのではないかと様々な疑問や疑問を懐いてしまっているのではないと思

私たちがJR東日本の中で目指す組合像への理念と信念は、これまでと変わるものではありません。企業内労働組合として、会社の社会的信頼と発展が、そこで働く社員の幸せに直結することを土台とし、その土台土俵の上で社員の代表として、会社と労働条件の向上、労働環境改善をしっかりと議論できる労使関係づくりを大切に

あると考えます。様々な視点観点から、JR東日本の中には大小複数の労働組合が存在していますが、国鉄時代への回帰を思わせるような労働組合運動を展開している組合もあります。また、組合運動が、左傾化してきているのではないかと、危惧をしております。国鉄改革からJRへ移行し25年以上が経過しました。社員の半数がJR採用となり、社員の年齢層は大きく若返りました。しかし、それに併せて仕事の仕方、考え方も変わらなければならぬ中で、職場内での労働環境を改善するJR東日本内の労働組合の本質は、無関心さは増すものの、活動家といわれる役員は今日までほとんど変わらな

結成アピール

本日、私たちは、東京都三田の電力総連ビルにおいて、ジェイアール・イーストユニオンを結成し、当面の方針を参加者全員で確認し力強く展開していくことを満場一致で決定した。

私たちがJR東日本の中で目指す組合像への理念と信念は、これまでと変わらず企業内労働組合として、会社の社会的信頼と発展が、そこで働く社員の幸せに直結することを土台とし、その土俵の上で会社との労働条件の向上、労働環境改善をしっかりと議論できる労使関係づくりをすることを確認した。併せて、会社発展のため施策提言型の運動をベースに、労働組合としてのチェック機能も果たせる労働運動を構築させることも確認しました。

国鉄時代への回帰を思わせるような労働組合運動を展開している組合もあり、組合運動が左傾化してきていることに危惧をしている。国鉄採用社員からJR採用社員へ、時代の継承とともに鉄道の歴史と責任も継承しなければならない。そのためには、企業内労働組合として組合員からの資質向上にも取り組んでいかなければならない。

私たちに課せられた労働組合の責務は、時代を継承しJR東日本の将来を継承できる次世代社員で、これからの労働組合を構築させ、継承させることが最重要課題である。

そのためには、私たちのジェイアール・イーストユニオンが、会社を担うポテンシャル社員や現場を担う新規採用社員に、わかりやすく説得力のある労働組合であることが望まれる。

私たちは、今、スッキリした気持ちで最後のスタートをした。後は、必ずゴールするために、積極果敢に活動を提起展開し、結集する組合員の行動の実践を強く願います。

ジェイアール・イーストユニオン（JREユニオン）が、JR東日本の中で第一組合・責任組合に躍進できるように、鉄道人生の最後をかけてともに努力することもお互いに確認し約束した。後は、結果のみである。

ともに、頑張りましょう！
以上、宣言する。

2014年5月10日

ジェイアール・イーストユニオン
結 成 大 会

（一面から続く）
労働組合役員がJR採用にもかかわらず、国鉄時代の労働運動から変革できない状況が、今日のJR東日本内の労働組合情勢であると思っています。
そういった意味で、時代を継承しJR東日本の将来を継承できる社員の労働組合を構築させ継承することが、JR労働組合の変革・民主化に携わる私たちに与えられた責務であり、残された鉄道人生の中で最重要課題です。
会社が抱えている課題に対し、私たちが会社に提言し、ともに目指し目標を達成させることが企業内労働組合としての最大の責務であると思っています。これまでできなかった会社との労使関係づくりを大切にし、労使協議・交渉を展開していきます。

今、会社が見ているもの、私たちが新たに結成した組合から見るものは、JR東日本の労働組合の中では一番会社と近い存在になると思っています。それだけ重要な位置づけとなる私たちの決断であり、今回の新組合結成にいたる行動であると考えています。
私たちのジェイアール・イーストユニオンの結成が、会社を担うポテンシャル社員や現場を担うJR採用社員に、わかりやすく説得力のある労働組合であることが望まれます。
最後に、必ずや私たちのこの決断は、JR東日本の将来に大きな変革をもたらせることになるとの自信を持っています。これまでの離合集散の部分だけに与えられず、少数派の中でも積み重ねてきた自信と信頼は、必ずやJR東日

本の将来に継承できると確信を持っています。
私たちはスッキリした気持ちで最後のスタートをしました。次は最短距離で必ずゴールするために、積極果敢に活動を展開し、結集する組合員皆さんの行動の実践を強くお願いいたします。
ジェイアール・イーストユニオン、JREユニオンが、JR東日本の中で第一組合・責任組合に躍進できるように、鉄道人生の最後をかけてともに努力することを、この結成大会でお互いに約束することをお願いしまして、準備委員からのご挨拶とさせていただきます。
ともに、頑張りましょう！

組合員の皆さんへ

会社への承認手続きは着実に進んでいます。組合員の皆さんには組合費の手集めなど苦勞をおかけしますが、よろしく願います。
なお、本部の住所は仮事務所です。連絡事のある場合は所属の役員までお知らせください。
組合員全員の、経験に裏付けされた知恵を出し合い、努力を結果に結びましょう！

第2回中央本部大会

平成26年7月12日（土）

13時30分から

マロウドイン大宮 会議室

埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-173



で開催します。多くの組合員で、大会を盛り上げていきましょう！
参加をお願いします。

ジェイアール・イーストユニオン

中央本部役員

役職名	氏名	所属
執行委員長	菅野 一位	仙台 総括
執行副委員長	秋山 順一	東京 組織部長
執行副委員長	飯野 浩	仙台 総務部長
事務局長	国井 道徳	新潟 事務局・組織総括
執行委員長	菅井 正和	東京 業務部長
執行委員長	斉藤 弘昭	横浜 政治・共闘部長
執行委員長	和知 利昭	横浜 財政部長
執行委員長	池田 庄一	新潟 教宣部長
執行委員長	大橋 俊明	仙台 企画部長
執行委員長	高橋 佳昌	東京 組織担当部長
執行委員長	斎藤 寿男	新潟 組織担当部長
執行委員長	添田 新	仙台 組織担当部長